



## キャッシュ・フロー計算書

キャッシュ・フロー計算書は、一会計期間（4月1日～3月31日）における「お金（キャッシュ）」の「流れ（フロー）」を表します。貸借対照表や損益計算書は発生主義の考え方に基づき作成され、実際の資金の収支状況と乖離していることから、キャッシュ・フロー計算書の作成が必要となります。

(単位：百万円)

	説明	平成24年度	平成25年度	差額
I 業務活動による キャッシュ・フロー	通常の業務活動(投資・財務活動以外)の取引に係る収入と支出の差額 運営費交付金収入、附属病院収入、人件費支出、原材料・商品又はサービスの購入による支出など	13,508	14,027	519
II 投資活動による キャッシュ・フロー	資産の取得及び売却等の取引に係る収入と支出の差額 施設費収入、建物・設備の取得、投資資産の取得及び売却の取引 など	△7,066	△8,256	△1,190
III 財務活動による キャッシュ・フロー	資金の調達及び返済の取引に係る収入と支出の差額	△4,451	△3,975	476
IV 資金増加額 (I + II + III)	当期中の現預金(拘束性のない手元現金・当座預金・普通預金)増減額	1,990	1,795	△195
V 資金期首残高	前期末現預金残高	4,233	6,223	1,990
VI 資金期末残高 (IV + V)	当期末現預金残高	6,223	8,019	1,796

注) 各金額は単位未満を切り捨てているため、計は一致しない場合があります。

### 主な増減内容

業務活動	投資活動	財務活動
14,027百万円 (+519百万円) ●補助金等収入 8,734百万円 (+2,628百万円) ●原材料・商品又はサービスの購入による支出 △28,871百万円 (△1,472百万円) ●運営費交付金収入 36,390百万円 (△820百万円)	△8,256百万円 (△1,190百万円) ●有価証券の償還による収入 144,460百万円 (+23,730百万円) ●施設費による収入 12,503百万円 (+6,490百万円) ●有価証券の取得による支出 △144,460百万円 (△21,226百万円) ●有形固定資産の取得による支出 △20,858百万円 (△9,416百万円)	△3,975百万円 (+476百万円) ●国立大学財務・経営センター債務 負担金等の返済による支出 △2,093百万円 (+148百万円) ●ファイナンスリース債務の返済による支出 △1,339百万円 (+212百万円)

平成25年度のキャッシュ・フロー計算書からは、本学が業務活動で得たキャッシュで設備投資（資産の取得等）を行い、借入金の返済等を行っていることが読み取れます。

### 会計メモ⑥『国立大学法人のキャッシュ・フロー計算書』

国立大学法人は民間企業と異なり、運営費交付金など、業務運営に必要な経費について国から交付を受けており、附属病院の経営収支が大幅にマイナスであった場合を除き、資金不足（業務活動によるキャッシュ・フローがマイナス）になることは通常ありません。その他については民間企業と同様、設備等への投資が積極的に行われたか（投資活動によるキャッシュ・フローがマイナス）、または抑制傾向にあるか（投資活動によるキャッシュ・フローがプラス）、借入金等により資金を確保したか（財務活動によるキャッシュ・フローがプラス）、借入金等の返済により財務改善を進めたか（財務活動によるキャッシュ・フローがマイナス）等を判断することができます。